

2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	京成電鉄株式会社
---------	----------

本年度整備費	2,758 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	駅	番線	
エレベーター	2 駅	4 基	新千葉駅、大森台駅
エスカレーター	駅	基	
スロープ	1 駅	1 ヶ所	新千葉駅
内方線付点状ブロック	駅	番線	
段差隙間縮小に資する設備	駅	番線	
バリアフリースイール	2 駅	2 ヶ所	新千葉駅、大森台駅
車両のフリースペース	編成	両	
その他	3	駅	誘導案内設備：日暮里駅、空港第2ビル駅 (案内サイン) 移動円滑化設備：京成中山駅(障害者対応型券売機、拡幅改札口)
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	2 駅
	二経路以上確保駅	駅

本年度徴収額	2,222 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	1,160	1,062	
備考			

本年度までの累計整備費	6,716 百万円
本年度までの累計徴収額	4,340 百万円

2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	8 駅	25 番線	京成高砂駅・青砥駅・鬼越駅他	1,211 百万円
エレベーター	2 駅	4 基	新千葉駅・大森台駅	291 百万円
エスカレーター	1 駅	6 基	成田空港駅	22 百万円
スロープ	1 駅	1 ヶ所	新千葉駅	22 百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線		百万円
段差隙間縮小	駅	番線		百万円
バリアフリースイレ	2 駅	2 ヶ所	新千葉駅・大森台駅	45 百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他	3 駅※1			21 百万円
備考	※1 誘導案内設備：日暮里駅・空港第2ビル（案内サイン）、移動等円滑化設備：京成中山駅（障害者対応型券売機・拡幅改札口）			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		百万円
エレベーター	1 駅	1 基	千葉寺駅	42 百万円
エスカレーター	3 駅	7 基	八千代台駅 京成酒々井駅 京成千葉駅	368 百万円
バリアフリースイレ	駅	ヶ所		百万円
車両	編成	両		百万円
その他	40 駅※2			257 百万円
備考	※2 運行情報提供設備：千住大橋駅など6駅（行先表示器など）、誘導案内設備：京成関屋駅など34駅（触知図案内板など）			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）				
維持管理費	455		百万円	
収受システム改修費			百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	24		百万円	
備考	維持管理費は、エレベーター、ホームドア等の維持管理に要した費用を示す。			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2021年度～2025年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	4番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	0番線	100%	0駅	0%	1駅	100%
2025年度	0番線	100%	2駅	100%	0駅	100%
累計	4番線	100%	2駅	100%	1駅	100%

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度～2030年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2027年度	10番線	33%	1駅	33%	1駅	33%
2028年度	9番線	63%	1駅	67%	1駅	67%
2029年度	5番線	80%	0駅	67%	1駅	67%
2030年度	6番線	100%	1駅	100%	1駅	100%
累計	30番線	100%	3駅	100%	3駅	100%

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2031年度～2035年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2031年度	1番線	11%	駅	%	駅	%
2032年度	0番線	11%	駅	%	駅	%
2033年度	2番線	33%	駅	%	駅	%
2034年度	2番線	56%	駅	%	駅	%
2035年度	4番線	100%	駅	%	駅	%
累計	9番線	100%	駅	%	駅	%

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
例) ○○駅ホームドア整備事業（××駅△△番線）			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	京成電鉄株式会社
期間中の総整備費	6,716 百万円
期間中の総徴収額	4,340 百万円
備考	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）					
設備名	計画数		整備数		進捗率
ホームドア	1 駅	4 番線	1 駅	4 番線	100 %
エレベーター	3 駅	5 基	3 駅	5 基	100 %
エスカレーター	1 駅	2 基	1 駅	2 基	100 %
スロープ	1 駅	1 ヶ所	1 駅	1 ヶ所	100 %
内方線付点状ブロック	駅	番線	駅	番線	%
段差隙間縮小に資する設備	駅	番線	駅	番線	%
バリアフリースイ	2 駅	2 ヶ所	2 駅	2 ヶ所	100 %
車両のフリースペース	編成	両	編成	両	%
その他	各	駅	各	駅※	100 %
備考	※誘導案内設備、運行情報提供設備、音声案内装置など				

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	4	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	2 駅
	二経路以上確保駅	1 駅

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	1 駅	4 番線	2,137 百万円※1
エレベーター	3 駅	5 基	351 百万円※2
エスカレーター	1 駅	2 基	58 百万円※3
スロープ	1 駅	1 ヶ所	42 百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線	百万円
段差隙間縮小	駅	番線	百万円
バリアフリートイレ	2 駅	2 ヶ所	45 百万円
車両のフリースペース	編成	両	百万円
その他	各 駅※4		180 百万円
備考	※1：整備数はホームドア整備完了分のみ。整備費には既存ホームドアの改良費及び2026年度以降ホームドア整備駅の設計・ホーム補強等を含む。 ※2：整備数はエレベーター整備完了分のみ。整備費には既存エレベーターの改良費等を含む。 ※3：整備数はエスカレーター整備完了分のみ。 ※4：誘導案内設備16駅（盲導鈴、触知図案内板、案内サインなど）、ベンチ5駅、運行情報提供設備（行先表示器含む）3駅、音声案内装置（エスカレーター）17駅など。		
(2) 更新費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	駅	番線	百万円
エレベーター	2 駅	3 基	108 百万円※5
エスカレーター	9 駅	23 基	1,167 百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所	百万円
車両	編成	両	百万円
その他	各 駅※6		1,015 百万円
備考	※5：エレベーター内の一部機器更新を含む。 ※6：誘導案内設備33駅（盲導鈴、案内サインなど）、渡り板29駅、運行情報提供設備14駅（行先表示器含む）、列車非常停止装置11駅など。		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費	1,371	百万円	
収受システム改修費	8	百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	234	百万円	
備考	維持管理費は、エレベーター、ホームドア等の維持管理に要した費用を示す。		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針

(期間中においては計画通り進捗しておりますため、特段の記載事項はございません。)